

2011.11

AIRHEART NEWS

(有) エアハートコーポレーション 〒125-0031 東京都葛飾区西水元3-6-8

TEL 03-5648-5804 FAX 03-5648-5805 ueno@airheart.jp http://www.airheart.jp

オリビエ=ネフ氏 インタビュー


niviuk社のメインデザイナーであるオリビエ=ネフさんにインタビューをすることができました。

オリビエ=ネフさんは、常に最新のテクノロジーを取り入れ、niviuk社をトップメーカーに押し上げました。

niviukのグライダーは、高性能で乗りやすいといった絶妙なチューニングがポイントです。その秘密に迫りたいと思います。



AIR HEART ネフさん、今日は貴重なお時間をいただきありがとうございます。ではさっそくインタビューを始めたいと思います。出身はどちらですか？

 スイスのジュネーブ生まれです。今は、ベルビエに住んでいます。ベルビエは、テストフライトするにはいいとろですし、住みやすく満足しています。



パラグライダーの経歴について教えてください。



87年にパラグライダーを始めました。89年にはコンペティションに参加し始めました。



コンペに参加するまでが早いんですね。それは何歳の時ですか。



19才です。最初のコンペでロベルト=グラム（アドバンスの創業者でデザイナー）に出会いました。そうしてアドバンスのグライダーに乗りコンペティションに参加しました。97,98年にはにジンに移りました。その後アドバンスへデザイナーとして戻りました。



ネフさんは、デザインとテスト両方共行うのですか。



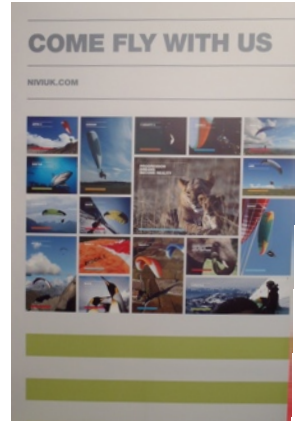
はい、どちらも行ないます。デザインだけでは、見落としていることがあり、テストフライトして分かることが多いのです。私にとっては、フライトからのフィードバックはとても重要です。



niviuk社に移籍したわけですが、どこが良かったですか？



私にとっては、niviukのようなラテンのファミリー的な感じが肌に合っています。



<http://www.facebook.com/airueno>



<http://www.facebook.com/airheart.jp>



niviukグライダーは、いつも新しいテクノロジーに挑戦し、新しいパラグライダーの世界を私達に見せてくれています。新しいテクノロジーのアイデアの源泉はどんなところから出てくるのですか？



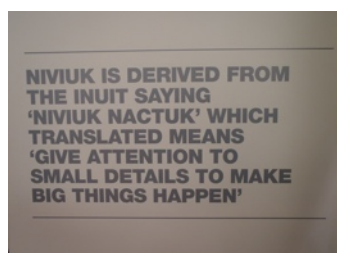
ぼくらはniviukのフィロソフィーに従って開発しています。2ライナーのようにコンペティションの世界から刺激を受けることもあります。

一番はいろいろトライしたところから、次の発想が生まれることが多いですね。

またマーケットから様々なアイデアを広く受け入れるようにしています。



アリアッシュ、ウルバンのバリック兄弟とのチームはどうですか。



お互い本拠地が離れているから大変なことも多いけど、お互いにいいアイデアを出し合い、いいチームになっています。



Niviukグライダーは、高性能で、乗りやすさという点が、他社にマネのできない点だと思いますが、最終的にどのような点に気をつけているのですか？



いろいろな人がいろいろな状況でフライトするので、安定性、乗りやすいトリムスピード、タイトな感じにならないようにしています。タービュランスでのフライト特性にも気を使います。スムーズで適度な情報がパイロットに伝わるようにしています。なんといってもグッドフィーリングになるようにしています。



ニューリリースのARTIK3について聞かせてください。



ARTIK3を開発するのに当たって、もう一度ARTIK2で



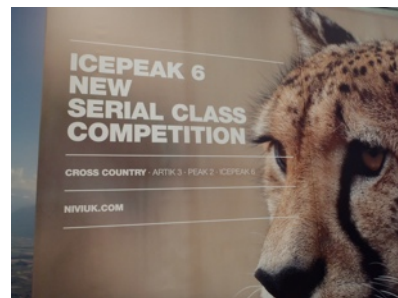
フライトしてました。ARTIK2の特徴は、ダイナミックなフィーリングです。ARTIK3はもう少しスムーズで安定したものになっています。

もちろんパフォーマンスはARTIK2よりも向上しています。またグライダーが少し軽くなっているので、テイクオフでメリットを感じることができるでしょう。ARTIK3は、新しいプロファイル、3ライナー等の新しいデザインを取り入れているので、ARTIK2とは少し感じが違うものになっていると思います。



日本のコンペ

ティターは、次のコンペティショングライダー



『ICEPEAK6』に期待を寄せていますが、どうでしょうか？



ICEPEAKシリーズはniviukのフラッグシップモデルです。

まだ試行錯誤中です。もちろん1月に行われるPWCファイナルには間に合わせるつもりです。



ICEPEAK6は、2ライナーですか、3ライナーですか？



うーん、まだ答えられません。いろいろなプロトタイプを試している最中です。



最後に日本のパイロットにメッセージをお願いします。



NIVIUKグライダーで、セーフティフライトしてフライトする喜びを感じてくれたら幸せです。



ぜひ日本にも来て下さい。日本のパイロットもきっと喜んでくれます。



そうですね。日本では、いい思い出ばかりですからね。



今日は本当にありがとうございました。